

2018 年度 環境科学部 相互国際交流プログラム 体験記

環境科学部サマースクールに参加して

国際環境エキスパートセミナー参加、環境科学部 1 年生(研修時)

YM さん

このサマースクールには様々な国から来た学生が参加していて、新しい発見がたくさんあった期間になりました。日本にいるのに日本語が全く使えない状況はとても大変でしたが、私はとても楽しかったです。留学生のみなさんはとてもフレンドリーでした。私は一緒に授業を受けてグループワークをするのはもちろん、留学生の生活のサポートもしなければいけません。しかし、グループで取り組む課題の時はたくさん助けてくれたし、普段もとても明るく、逆に私たちが元気づけられました。サマースクールの前は、正直この短期間で会ったことのない留学生と仲良くなれると思いませんでした。そのような全てのイメージを覆す刺激だらけのプログラムでした。



長崎の歴史を学んだ長崎歴史文化博物館での記念撮影

長崎まちづくりワークショップに参加、環境科学専攻修士 1 年(研修時)

SA さん

4度目の参加となったカリフォルニア大学バークレー校の大学院生と共に取り組んだ長崎まちづくりワークショップ。院生になった今回こそは何か爪痕を残そうと意気込んでいましたが、やはり今回も彼らの高い分析力、アイデアを裏付ける知識量、デザインする速さを間近で体感しました。彼らから多くのことを学びながら非常に楽しく、有意義な時間を過ごすことができた一方で、自分にはアイデアを実際のデザインに落とし込むためのスキルが足りず、悔しい思いをすることもありました。デザインを提案する上で必要な知識や技術の不足を痛感しましたが、さらなる学修を目指すモチベーションに繋がりました。



長崎まちづくりワークショップの現地研修

環境科学部短期派遣プログラムに参加して

台湾派遣、環境科学部 2 年生(研修時)

WHさん

このプログラムへは、海外の大学で 2 週間講義を受けるという貴重な経験をすることを目的に参加しました。実際に英語で講義を受けてみて、海外の学生の積極性を改めて実感しました。当てられなくても自ら手を挙げて発言する学生の多さ、自分の考えを母国語ではない英語で伝えることができる英語力の高さにはとても強い刺激を受けました。講義以外では、観光地を訪れる機会が多くありました。台湾の文化や人柄に触れることで世界の多様性を知り知見を広めることができたと感じています。必ず新たな学びがあるので、多くの人に参加してほしいと思います。



台湾・淡江大学:短期派遣プログラム開講式

タイ派遣、環境科学部 2 年生(研修時)

MOさん

タイでの 3 週間の生活はとても濃く刺激的な日々でした。特にプログラム中の研修旅行ではタイの学生達と 5 日間寝食を共にすることで観光などでは味わえないタイでの日常や言語に縛られないコミュニケーションを経験でき、異文化についての理解が進みました。また普段の日本の生活では感じる機会が少ない環境問題による影響を途上国ではすごく身近に感じる機会があり、今後環境科学部として環境問題について学んでいくなかで非常に貴重な機会を頂けたと感じました。この経験を通して是非後輩のみなさんには海外に飛び出して机上では学べない貴重な体験をしてほしいと感じました。



タイ・マヒドン大学:短期派遣プログラム開講式後の大学内見学

スウェーデン派遣、環境科学部 3 年生 (研修時)

NK さん

ルンド大学への留学を通して、私はスウェーデンの文化を学ぶことはもちろん、環境分野の研究を行っている教授や先輩方と交流する機会を持つことで自分自身の研究に対するモチベーションを高めることができました。およそ 3 か月という研修期間はあっという間に過ぎていったように思いますが、研究の面でも英語力を含めたコミュニケーションの面でもうまくいかない日々の連続でもありました。しかし、それに対して自分でどうすれば良いか考え、時には人に相談することで、少しずつ乗り越えることができました。この経験は私にとってとても大きな自信となったので、ルンド大学への留学に挑戦して良かったと思っています。



スウェーデン・ルンド大学: 短期派遣プログラム最終プレゼンテーション